

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	生産管理小委員会	主 査 名：浦江真人
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築生産活動における生産管理をめぐる諸問題を対象に調査研究を実施している。生産管理の在り方や方法論は建設産業の状況やその時々为社会背景を反映して敏感に変化し続けており、時代に即応した生産管理の在り方とその方法を明らかにすることが肝要である。今後とも、これらの成果を会員に還元するとともに、学会として生産管理をめぐる学術体系の確立を目指し活動していく。	
委員構成 (委員名(所属))	浦江真人(東洋大学) 井上啓(FBS) 安藤正雄(千葉大学) 石井勇(鹿島建設) 岩下智(鴻池組) 岡本秀雄(大林組) 笠間文雄(佐藤工業) 嘉納成男(早稲田大学) 須長尚久(清水建設) 多葉井宏(竹中工務店) 古阪秀三(京都大学) 松本啓二(三井住友建設)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003.4.21・9名 2003.5.19・7名 2003.6.25・8名 2003.7.29・5名 2003.9.16・5名 2003.10.15・5名 2003.11.25・7名 2004.1.14・6名 2004.2.18・6名 2004.3.19・7名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>ゼネコンの現場の工事管理技術者の<技術、技能、知識、能力>と<教育、育成>に関するテーマで、「外注化の実態」と「技術者教育」に関する調査・研究をおこなった。</p> <p>外注化に関しては、施工図作成や墨出しなど、以前はゼネコンの社員が行っていた業務がいつ・だれに外注されたかをヒアリング調査をおこないこれを整理しまとめた。</p> <p>技術者教育についての調査内容は、ゼネコン各社のOJT、Off-JTの教育カリキュラム等である。Off-JTに関しては、新入社員教育、3年目教育、5年目教育、...、等の集合教育の内容(講義内容、講義時間、等)である。5社の教育カリキュラムの資料により整理・集計・分析をおこなった。</p> <p>これらの調査・研究を通して、外注化と技術者教育の実態を明らかにするとともに、現場技術者の業務内容の中身と、更には過去から現在までどのように変化してきたかを整理する基礎データとなった。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>成果は当初の目標を達成している。現在は、これまでの調査・研究結果のまとめの段階である。そしてこれらの成果を報告書、ホームページ、等で公表する予定である。また、シンポジウム等を開催して広く成果の公表と問題提起をおこないたい。</p> <p>更にこの成果を発展させて、標準教育体系、標準カリキュラム、教科書等の作成を念頭においており、将来的には建築生産管理を学問体系として確立したい。</p>
その他評価すべき事項	